

令和3年12月11日(土)

へみんなの作った俳句

◆ おにごっこみんなではしるふゆのにお
ツワブキや花びらほそくはりがねだー

小一 雨宮杜祐

◆ 冬来たるおそなえまえにばしようぞう
ゆきおんなおはなのにおいをふきとぼす

小一 内田愛乃

◆◇ 校いで先生とする日なたぼこ
まんりょうのまつかでてれる十二月

小一 前蘭恵実

◆ クリスマスなにをたのむかないしよだよ
もみじのはばしようぞうのまえにかざったよ

小一 渡辺杏

◆ ツワブキのはなびらほそいたけのはだ
ゆうがたに冬の石割りかたすぎる

小三 石川由佳子

◆◇ 新しい宝石つけたにしきぎよ
冬になりダイエットしたつわの花

小三 酒井美遥

④③ 青木の実おしくらまんじゅう温かい
まんりょうはなかよし家族一軒家

小三 日原紗英

④◇ 万両はばしように守られくらしてる
万両は森でひっそりかくれんぼ

小三 三好永毅

◇◇ いがぐりをかけていじめる子どもたち
山ねむり山のきぎたちじゅんぴ中

小四 牛尾彩夏

③③◇ ぁおきの実まほうかけられ朱のなみだ
冬もみじ赤の衣装に変しんだ

小四 北島百梨

③◇◇ お月見やお団子目当てで待ち遠しい
松の葉は落葉をちくちく手芸屋さん

小四 橋本明佳

◆ 寒き朝神秘をにぎる静けさや
万両やキラッとかがやく炎かな

小五 坂元琢己

③◇◇ 行き帰りつけずに消えた手袋が
友達と一度でいいから雪合戦

小五 滝川晴迪

◆ 木の上から引つ越しをする落ち紅葉
水面の落ち葉は仲良しカーペット

小五 日原千智

④ 銀杏の木上から染まる金色に
冬の空気温が一けた通学路

小五 渡辺恵麻

◆◇ 朱い実とは全く真逆の寒さにおう
冬枯れ葉私を置いて地に落つる

小六 三島来美

講師選

◆足田丈晴 選・◇五六八我楽 選

※希望により作者の氏名の記載が無い場合があります。

